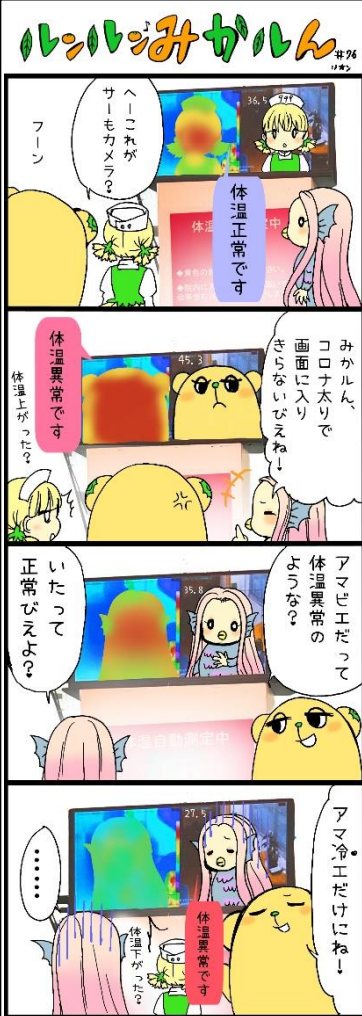




『ドラえもんづくし』
9月19日(土)、ドラえもん生誕50周年を記念して、ドラえもんまつりを開催。

ディケア



「外出できたことに感謝！」
(ちょっと密ですが、半分は人形です)

ディケアでは引き続き、密閉・密集・密接を避けるべく、天気の良い日は外でものんびりしてもらえよう、パラソルを設置

コロナがなかなか終息せず、いまだ不安な生活が続いているなか、最近では少しずつディケアの参加人数も増えてきた。懐かしい顔もちらほら見られ、以前のような活気が戻りつつある。

ディケアでは引き続き、密閉・密集・密接を避けるべく、天気の良い日は外でものんびりしてもらえよう、パラソルを設置

どら焼きを食べたり、クイズをしたり。ひみつ道具について語り合うなどドラえもん一色の日となった。和田係長が欲しい道具は「スモールライト」。元気な女性スタッフがガミガミ責め立てられ、いつも自分が小さくなっているため「これを使って彼女らを小さくしてやりたい」そうだ。

体だけでなく、態度も小さくなればいいのに...

置。利用の仕方は様々で、お茶を飲んだり、本を読んだり、おしゃべりしたりとメンバーからも好評のよう



炭吉「気分はパリのオープンカフェね」
佐藤「ウィー、マドモワゼル!」

わたしの力作
市販のキットを用いて貯金箱や小物入れなど様々な木工作品を作る「ウッドデイ工房」。今回茶色の宝箱をみせてくれたのはメンバーのH・Kさん。「初めて作ったけど満足いく作品に仕上がりました。またやりたい」と創作意欲に火が付いたようだ。



初めての方でも楽しめますよ



新聞棒で懸命にモノボケする坂本さん。大体スベる。

ステップ教室始めました
転倒防止や体力向上を目的に、10月から始まった「ステップ教室」。新聞棒を使った柔軟や、音楽に合わせた発散的体操などを行なっている。担当する坂本ゆい作業療法士は、楽しくも持ちネタ増やします」と話した。

Q 休みの日は?
A 家のことが主ですね。三月下旬に岐阜へ来た

Q 休みの日は?
A 家のことが主ですね。三月下旬に岐阜へ来た

羅笑門



Q 休みの日は?
A 家のことが主ですね。三月下旬に岐阜へ来た

Q 休みの日は?
A 家のことが主ですね。三月下旬に岐阜へ来た



◆学生さんの声

西脇 聖奈さん
(平成医療短期大学)
「山の中で自然豊かな素敵な病院だと思いました。山奥なので山道の運転がちよと怖いですが」



「山奥は言いすぎました」

◆次回のお知らせ
次回の養南新聞はR3年新年号になります。お楽しみに。



発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.youan.or.jp
✉ younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケア
クリーニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-4-1
☎0581-274-9600



設備を充実

いまだ終息をみないコロナ禍。今後は医療機関としてできる限りの対策をしながら安心して受診、入院してもらええる環境作りが必要だ。ここ養南病院でも着々と対策が進められている。

まず正面玄関を入ってすぐ目につくのが「サーモカメラ」。カメラの前に立つだけで自動で体温が表示され、発熱があると知らせてくれる。



「当初は私がこうして一人一人測ってました」と話す吉野看護部長

これまで、外来患者は職員が体温計で一人一人チェックをしていたが、このために受付が混みあ



手洗いが楽しくなりました。

さらには石鹸やアルコール消毒のノータッチディスプレイが院内約150ヶ所に設置され万全を期す。(ミシユランガイド参照)

「白米派? 酢飯派?」
夏場は出せなかったけど11月はいよいよお刺身の登場です。
安田「まずは海鮮丼でしょ木」
鈴木・三澤「やったー」
安「海鮮丼にはやっぱり酢飯だよ」
鈴「えー? 何言ひ出すんですか? 海鮮丼はほかほかの白ご飯ですって。先輩!」
安「あなたこそ何言ってん



酢飯だけで丼一杯いける女、三澤千明

「食のこだわり」
「白米派? 酢飯派?」
夏場は出せなかったけど11月はいよいよお刺身の登場です。
安田「まずは海鮮丼でしょ木」
鈴木・三澤「やったー」
安「海鮮丼にはやっぱり酢飯だよ」
鈴「えー? 何言ひ出すんですか? 海鮮丼はほかほかの白ご飯ですって。先輩!」
安「あなたこそ何言ってん

ディスペンサーが密ではないのかと言われるくらい設置数! 存分に手指消毒を実施して欲しいような。今回の期待度 星4つ★★★★

◆「よもぎ工房」竣工
10月9日(金)、楽山・杜の会において「楽山よもぎ工房」の竣工式が行われた。
これは楽山の主力商品である草餅に使用するヨモギの加工場が手狭になつてきたため、今年はじめから計画されていたもので、「ヤマト福祉財団」より500万円の助成金を受けている。
今後はこの工房を利用し「お茶」や「入浴剤」の製造にも着手する予定だという。



熟練の手さばきを見せるスタッフ

式典では関谷理事長が「コロナ禍で一時は売れ行きが落ち込み利用者の工賃が引き下げられるというこもあつたが、ここにきて回復してきている。この工房で更に生産力を上げ、工賃アップにつなげられれば」と挨拶した。

人生初のテープカットに戸惑う関谷理事長